

残された課題等のまとめ

評価を行う過程で浮かび上がった全体構想及び地域別構想の残された課題並びに改定に当たっての視点等を次のように整理しました。

こうした課題等を踏まえて、都市計画マスタープランの改定を進めていく必要があります。

まちづくり方針（全体構想）について

項目	残された課題	改定に当たっての視点等	
都市施設整備方針	道路・交通体系の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・東八道路（府 3・2・2 の 2 号 東京八王子線） 府 3・4・5 号（新奥多摩街道線）及び府 3・4・16 号（府中東小金井線）の未整備区間の整備の推進 ・府 3・4・3 号（狛江国立線）や府 3・4・11 号（多磨墓地前線） 府 3・4・12 号（浅間山線） 府 3・4・21 号（府中国分寺線）等の未整備路線の事業化に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・府 3・4・3 号（狛江国立線）や府 3・4・11 号（多磨墓地前線） 府 3・4・12 号（浅間山線） 府 3・4・21 号（府中国分寺線）等の未整備路線の事業化に向けた検討 ・自転車走行空間の整備に向けた見直しやネットワーク形成のあり方の検討 ・道路の無電柱化の推進
	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な生活道路における歩道と車道の分離や自転車の走行空間の確保 ・木造住宅の密集する地域等における狭あい道路の拡幅整備の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺等における歩行者空間のバリアフリー化及び生活道路の無電柱化の推進 ・自転車と歩行者の安全確保対策と自転車走行空間の確保のあり方の検討 ・狭あい道路の路線・面的拡幅整備の検討 ・道路の無電柱化の推進 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・上屋の設置などのバス停周辺の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点の利便性向上に向けた鉄道事業者との連携の強化 ・路線バスとコミュニティバスの共存に向けたすみ分けの検討 	
公園・緑地等の整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地や都市農地などの私有地の既存緑地の減少 ・公園・緑地の日常管理へのインフラ管理ボランティア制度等による市民協働の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・インフラマネジメント計画に基づく、公園施設等の適切な維持管理に関する検討 ・水と緑の軸と拠点の強化に向けた水と緑の保全手法の検討 ・自然環境の質の向上に向けた取組の検討 ・私有地での緑地の適正な維持管理の支援手法の検討 	

項目		残された課題	改定に当たっての視点等
都市施設整備方針	都市施設整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設マネジメント基本方針に基づく公共資産の維持・活用 ・庁舎及び総合体育館の耐震性・老朽化への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共資産の維持・活用に向けた取組の推進 ・まちづくりの拠点となる庁舎への建替えの検討
	防災のまちづくり方針	<ul style="list-style-type: none"> ・特定緊急輸送道路の沿道建築物の更なる耐震化 ・一般緊急輸送道路の沿道建築物について耐震化の普及啓発 ・木造住宅の密集する市街地において、不燃空間の拡大や狭あい道路拡幅整備の促進による防災性の向上が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化の促進 ・都市基盤（インフラ）施設の安全確保のためのマネジメントの推進 ・ゲリラ豪雨による水害対策の強化 ・木造住宅密集地域などの特定の地域における、狭あい道路拡幅整備事業、建築物の不燃化促進の取組等と連携した重点的な耐震化施策の検討
	福祉のまちづくり方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中河原駅及び北府中駅周辺の利便性と安全性の向上が必要 ・働く親を支援するため、保育所の開設などによる待機児童の解消 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿社会の形成に向けてだれもが健康づくりやスポーツを楽しめる環境づくりの推進 ・子育て家庭に必要な保育サービスを提供するための保育サービス量の拡充による待機児童の解消
	環境のまちづくり方針	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地や都市農地などの民有地の既存緑地の減少 ・水田の減少に伴い、農業用水利用が減少しているため、水辺の保全が必要 ・民間企業や家庭における低炭素まちづくりの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものの生息空間の確保など、生物多様性の保全に向けた取組の推進 ・低炭素型・循環型社会に向けたまちづくりの促進 ・太陽光発電システムや街路灯のLED化などによる公共施設における地球温暖化対策の推進
都市環境形成方針	景観のまちづくり方針	<ul style="list-style-type: none"> ・開発事業における土地利用調整と連携した景観調整などの一層の促進 ・けやき並木などの府中固有の歴史的資源を活かした景観まちづくりの促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的資源や文化・産業資源を活用した観光やシティプロモーションと連携した景観づくりの展開 ・まちの風景と調和した誘導サイン、標識などの検討 ・景観協定における管理・技術支援の検討

地域別まちづくり方針（地域別構想）について

地域区分	今後の取組予定
第1地域 (p.69)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・4・16号の整備の推進 ・多磨駅西口の都市計画道路3・4・11号の整備と多磨駅西地区のまちづくり誘導計画を踏まえたまちづくりの促進 ・人見街道の交通問題の解消に向けた都市計画道路3・4・12号の事業化の検討 ・人見街道のボトルネック踏切の改善と多磨駅の改良による整備
第2地域 (p.72)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業特区制度の活用の検討などにより、まとまった農地の地域の資源としての活用を促進 ・東部地区土地区画整理事業区域における地区計画によるまちづくりの検討
第3地域 (p.75)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内に立地する法務省3施設（国連アジア極東犯罪防止研修所、矯正研修所及び関東医療少年院）が（仮称）国際法務総合センターとして昭島市に移転することから、移転に伴う跡地について適正な土地利用の誘導 ・府中基地跡地留保地の土地利用の見直しに向けた検討 ・北府中駅付近のバリアフリー化に向けた取組
第4地域 (p.78)	<ul style="list-style-type: none"> ・府中駅南口地区再開発事業「第一地区」の事業の推進 ・武蔵国府跡関連遺跡などの駅周辺における歴史・文化資源をはじめとする既存ストックを活かしながら、地域活性化に向けた地域マネジメントの取組の促進 ・国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木や桜通りの桜並木などの保全・再生への取組 ・けやき並木通りの空間を活かす建築物の壁面後退等の地域のルールづくりに向けた取組 ・市庁舎の建替えとそれに合わせた周辺まちづくりの推進
第5地域 (p.81)	<ul style="list-style-type: none"> ・東八道路（府3・2・2の2号東京八王子線）及び府3・4・5号（新奥多摩街道線）の未整備区間の整備によるボトルネックの解消 ・東芝事業所西側及び新府中街道沿道の工業地域における土地利用について、住宅用途に土地利用転換しないためのエリアマネジメント ・多摩メディカル・キャンパス関連施設の整備に際して、崖線緑地などの良好な緑と調和した計画に誘導 ・警察病院の跡地利用に際し、関係機関とのまちづくりの調整
第6地域 (p.84)	<ul style="list-style-type: none"> ・分倍河原駅周辺の交通結節機能や都市基盤整備など地域拠点機能の整備の推進 ・府3・4・6号（府中国立線）の未整備区間のあり方の検討 ・分倍河原駅周辺における駅舎改良を含めたまちの利便性や安全性促進のための地域まちづくりの検討 ・大規模団地の建替えなどによる耐震化等の促進 ・農業体験の拠点となる農業公園の整備
第7地域 (p.87)	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川の自然環境や郷土の森公園などの大規模な公園や緑道、農地等のみどりの整備及び保全 ・給食センターの移転に伴う跡地の活用方法の検討 ・生産緑地の追加指定等による農地の保全や農業公園の整備、用水路網の保全と宅地化の計画的な調整の検討 ・中河原駅周辺のバリアフリー化に向けた取組 ・都市計画道路府3・4・3号（狛江国立線）の事業化とそれに伴う沿道のゾーニングの検討
第8地域 (p.90)	<ul style="list-style-type: none"> ・西部地区土地区画整理事業区域における地区計画によるまちづくりの検討 ・生産緑地の追加指定等による農地の保全や用水路網の保全と宅地化の計画的な調整の検討 ・都市計画道路府3・4・3号（狛江国立線）の事業化とそれに伴う沿道のゾーニングの検討

() は、各地域のまちづくりのページを掲載しています。

府中市都市計画に関する基本的な方針の評価に関するアドバイザー会議における主な意見

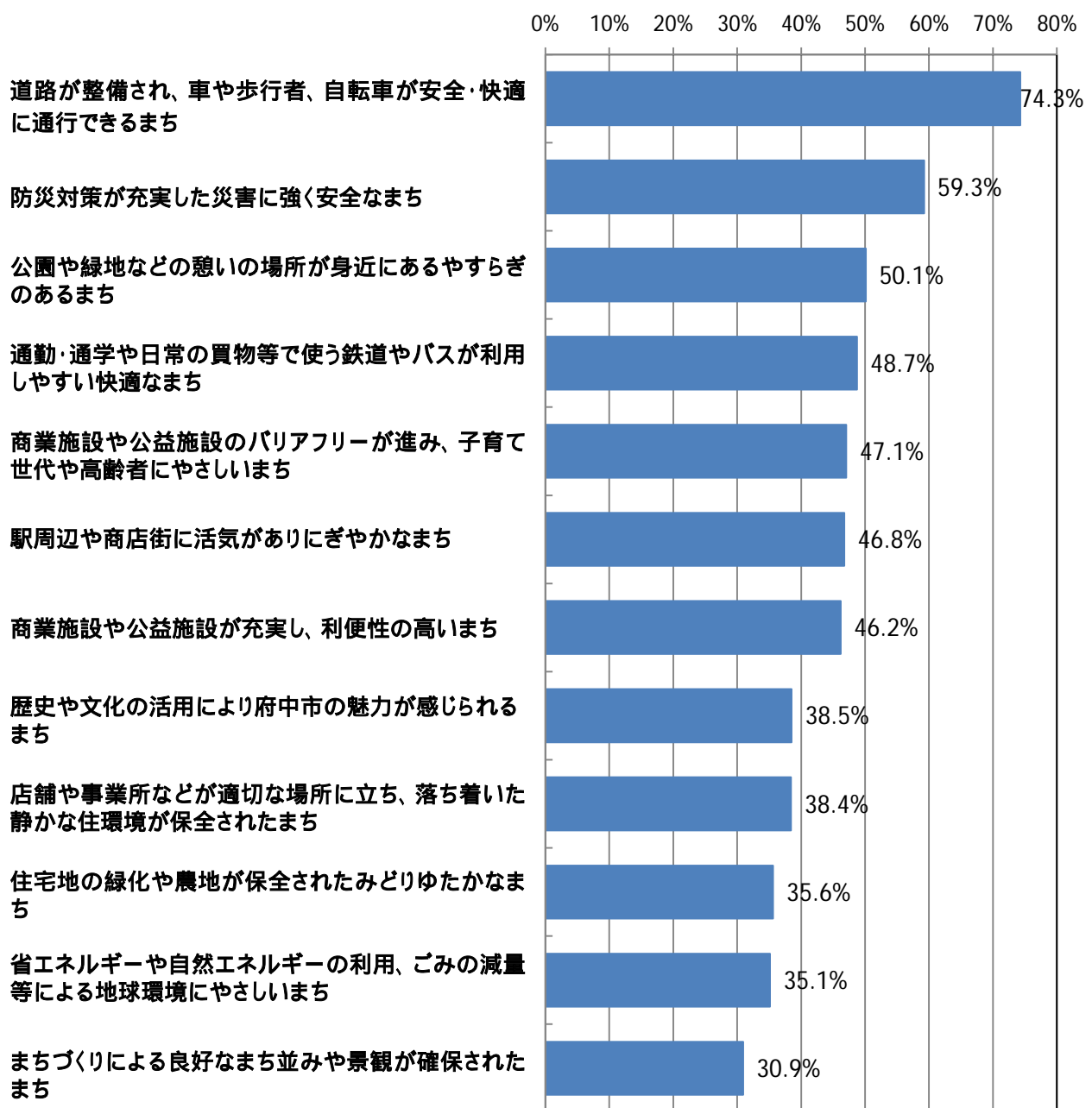
項目	改定に向けた意見
都市計画マスタープランの位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・人口や税収規模が縮小していくなか、それに対応した都市施設・公共公益施設に関する施策の舵をきるため、拠所となる都市計画マスタープランの役割、位置付けの検討 ・都市基盤や交通条件が一定程度整ったなかでの市民のまちづくりのニーズや財政状況を踏まえたまちづくりのあり方についての検討 ・全体構想における分野別のまちづくり方針が地域別構想において具体化されることにより、各地域の施策課題や優先的な施策が整理された都市計画マスタープラン体系の検証
まちづくりの将来像と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会経済情勢の変化を踏まえたまちづくりの将来像の検討 ・達成に向けた進捗状況を評価できる都市計画マスタープランの目標設定の検討
まちの骨格構造	<ul style="list-style-type: none"> ・「軸」や「拠点」など、府中市の都市構造を踏まえた土地利用の目標像の設定のあり方や実現に向けた戦略の検討 ・多摩川と崖線などの自然環境を活かしたまちづくりの継続的な推進
土地利用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣商業地域や準工業地域を中心に、各用途地域が混在しているため、住宅系土地利用、商業系土地利用及び工業系土地利用の適切な共存・併存が図られる土地利用を誘導する用途地域の一斉見直しなどの検討 ・多摩川周辺や崖線軸、都市計画道路沿道など、指定容積率の消化状況を踏まえた都市計画による対応の検討 ・農地への市民の関心が薄いなかで、農地保全への取組手法の検討 ・「中高層マンションの増加」や「個人商店の減少」という市民のマイナス評価要因への対応の検討
都市施設整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・社会経済情勢や交通量の変化を踏まえた交通計画のあり方、道路断面の見直しによる自転車走行レーンや歩行者空間の充実などの道路空間の活用あり方、整備・維持管理への官民連携の推進方策の検討 ・都市農地などの緑の量的な減少への対応とともに、質の高い緑の形成の推進
都市環境形成方針	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉のまちづくりや都市防災との連携対策の強化（開発事業における福祉施設の整備、都市復興計画の策定など） ・歴史資源を活かしたまちづくりの推進
まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少時代における適正な都市施設及び公共公益施設の維持管理と公共サービスの持続に向けた公民の役割分担と連携の推進 ・まちづくりへの多様な民間資金・ノウハウの導入手法の検討 ・様々なまちのハード・ソフトの資源を活かした協働のまちづくりのバリエーションの拡充と市民主体のまちづくりの促進

< 市民意識調査の結果から >

今後のまちづくりの方向について

「道路が整備され、車や歩行者、自転車安全・快適に通行できるまち」と感じる人は、回答者の7割以上となっており、一番多くなっています。

次いで「防災対策が充実した災害に強く安全なまち」「公園や緑地などの憩いの場所が身近にあるやすらぎのあるまち」「通勤・通学や日常の買物等で使う鉄道やバスが利用しやすい快適なまち」「商業施設や公益施設のバリアフリーが進み、子育て世代や高齢者にやさしいまち」「駅周辺や商店街に活気がありにぎやかなまち」「商業施設や公益施設が充実し、利便性の高いまち」と感じる人が多くなっています。



回答数: 1,426